

揚枝方地区 新キャンプ場整備

事業概要

北茨城市では岡倉天心が日本美術院を置いた景勝地「五浦」、三大童謡詩人の一人である野口雨情、江戸時代から続く伝統的な陶器を継承する「五浦天心焼」など、当市が有する芸術的な風土・資源を活かして「芸術によるまちづくり」を推進してきました。その一環として、市内でも高齢化が進む「揚枝方地区」において、ギャラリー兼アトリエの整備やランドスケープアートの取組を進めております。この「揚枝方地区」において、訪れた方が滞在しながら付近のアトリエで芸術作品の製作を行ったり、地区の資源を活かしたアウトドア体験ができるようなキャンプ場を新たに整備することにしました。芸術とアウトドアを組み合わせた新しい体験ができるキャンプ場を新たな観光資源としてPRし、交流人口の拡大に努めるとともに、高齢化が進む「揚枝方地区」の再生・活性化を図ります。



ギャラリー兼アトリエ「ARIGATEE」



揚枝方地区

令和4年度の事業内容

不動産鑑定、造成設計、建築基本・実施設計

令和4年度の事業費

42,733千円